

# 市議会だより



## 3月定例会・4月臨時会

- 25年度の秩父市の予算が決定
- こども医療費の窓口支払廃止のための予算を計上
- 西武秩父線の存続・維持を求める決議（臨時会）

- たのしくなかよく元気に遊ぶ
- かしこい子毎日取り組む学習時間タイム
- しっかりあいさつ輝くえがお
- のびのびとしのめ東雲台で体づくり

名前にちなんだこの言葉を目指に生活しています。色々な経験をし豊かな心が育ちます。  
きらきらスマイル100点

# 25年度の秩父市の予算が決定

※3月定例会(2月22日から3月13日まで開催)では、25年度の各会計予算を含んだ市長提出議案46件のほか、議員提出議案6件、請願1件を審議しました。  
※25年度の一般会計予算に関する質疑および討論の主な内容は下記のとおりです。

## 総務・建設関係の予算

### 市役所本庁舎等 建設工事

**問** 市役所本庁舎等建設工事設計業務委託料について。

**答** 代表企業枠と、市内企業枠となる佐藤総合計画と丸岡設計の特定設計共同企業体との設計業務委託契約を締結した。

**問** 内容は基本設計および実施設計の業務委託であり、委託期間は平成24・25年度の継続事業であり、市役所本庁舎等を合築により建設することで1億4836万5千円で契約。年度別経費として、24年度は4450万円、25年度は1億386万5千円である。

### 税 収

**問** 市税、固定資産税、都市計画税の減額は。

**答** 市民税の個人市民税は景気の低迷により、

平成24年度中の個人所得に伸びが見られないため、減額を見込んでいます。

また、法人市民税は、国税の法人税法の改正により、税率が引き下げられるため、法人市民税を減額とする。固定資産税は土地価格の下落に伴う土地に対する税額の減額、償却資産の新規取得が見込まない経済状況のため償却資産の対応年数経過による減額を見込んだものである。都市計画税についても固定資産税と同様の理由で減額である。

## ミューズパーク 施設

**問** スポーツの森公園関連施設、売上金収入2億円の内訳は。

**答** コテージ部分1億8千万円、センターハウスの売店、F1ゴーカート施設等の売り上げから市の歳入として2千万円と見込んでいます。

**問** 赤字は約2億円なのか。

**答** スポーツの森関連施設使用料が約2460万円、また、地方交付税の基準財政譲与額の理論上の算入額約6千万円が見込まれ、実質的な赤字は約1億円となる。

## 生活産業関係の予算

### 環 境

**問** ちちぶエコタウン推進事業の多電源化・BDF発電機・太陽光発電の補助の詳細は。

**答** てんぷら油をリサイクルして出来るバイオディーゼル燃料を使って発電するBDF発電機3台、30KWを導入し、元気村の電源を多様化し、夜間・休日でも無人で電力を供給できるように、多電源化の実証実験をするもの。

太陽光発電補助は、昨年引き続き市民や業者が太陽光発電を設置する際に補助金(1件10万円)前年度より150万円多い600万円を計上した。

**問** 薪ストーブの補助金の内容は。

**答** 埼玉県エコタウンイニシヤティブプロジェクトとして、秩父産木材の活用とバイオマスエネルギーの展開を進めるために、秩父

産木材の一層の利用拡大を図るため薪ストーブ等の購入および設置費用の2分の1を補助金とし上限は10万円を補助、300万円を計上した。

**問** 秩父産木材使用住宅補助金は。

**答** 秩父産木材を使用して市内に住宅を建築する者に補助金を支出するもので、補助要件は市内に住所を有する者または市内に住所を有する予定のもので、平成24年度において秩父産木材を使用して市内の工務店において建築・施工されるものとしている。補助金額は秩父産木材を5立方メートル以上使用する場合、1立方メートル2万円の補助で限度は50万円。

平成25年度はそれに対応した要綱の改正、郡内業者に広げるということ。積極的な周知の方法について検討していく。



(吉田総合支所3階)



### 文教福祉 関係の予算

#### 医療費



昨年補助金を利用して設置された太陽光パネル

**問** こども医療費等の窓口払い廃止によるメリット、デメリットは、

**答** メリットとしては、市民観点では、原則、保険診療に係る医療費の窓口負担がなくなるため、小さな子ども抱える家庭等の医療費負担を軽減することができること。また、早めに診察が受けられるようになると思うので、症状の重い疾病の早期発見にもつながると考えている。デメリットとしては、市・医療機関の観点では安易な受診の増加で医療費が増える可能性があることや、医療機関が過度に混雑すること等が懸念されている。安易な受診を避けてもらうように周知していく。

#### 市営馬場

**問** 移転先は羊山に決定したのか。

**答** ミューズパーク内と羊山公園内が候補に挙がり、乗馬連盟との現地視察・協議を行い、また市当局内では企画調整会議に諮り、建設コストや観光誘客等を考慮し、羊山公園ふれあい牧場の隣地と決定した。



3月定例会本会議の様子

#### 学校

**問** 学校教育推進事業の中の学校司書教諭補助員配置事業の内容は、

**答** 学校司書教諭補助員を小学校13校および中学校2校へ配置する予定。

予算は1808万6千円を計上。

**問** いじめ・不登校対策充実事業補助金の内容は、

**答** 教育相談事業のさわやか相談員に対する助成金である。補助金の対象になる経費は、報酬等の22万71千4百円であり、中学校9校に10人の相談員を配置する予定。

**問** 小中学校費の非構造部材等耐震点検調査業務委託料の内容は、

**答** 大震災で天井および照明器具等の落下被害が生じたため、その対策として、市内の全小中学校の校舎や体育館等を専門家に診断してもらう費用である。

#### 文化財

**問** 指定文化財民俗行事活動補助金の内容は、

**答** 指定文化財民俗行事活動補助金は、秩父祭、川瀬祭、白久の串人形芝居および荒川神明社の川瀬神幸祭の各保存会へ、活動費の補助として交付しているものである。合計1155万円を計上。



川瀬祭

### 討論

#### 反対

厳しさを増す雇用情勢のもと、公的保育の需要が増大している現在、本予算は、働く母親の要求に應えるものとなっていない。最後のセーフティネットの生活保護費は、国、県費負担だ。厳しい社会情勢、高齢化のもとで対応できるか不安だ。ケースワーカー1人で国の基準を、大幅に超える担当者を抱えている。生活保護扶助費の増額とともに、ケースワーカーの増員も必要だと指摘し、反対する。

#### 賛成

市役所本庁舎の建設資金を計上したにも係わらず、大幅な市債発行による財政規模維持の感覚は無く、国の財政のように約2分の1が借金という訳でもなく、コンパクトにまとめた予算編成と考える。市民の期待に應えるためには、今回の予算編成は妥当なものと考え賛成する。

#### 反対

昨年の9月議会、12月議会と、小中学校普通教室へのエアコン設置を強く促す質問が出されている。昨今の気象条件や定住自立圏域で秩父市だけが設置をしていないこと、そしてなによりも子どもたちの健康が脅かされている(昨夏は体調不良による保健室休養が43件)ことから、25年度予算で普通教室へのエアコン設置の道筋をつけるべき。

秩父市議会3月定例会の最終日(3月13日)に議長選挙が行われ、議長に浅海忠議員が選出されました(副議長は変更ありません)。また、委員会の委員等についても、下記のとおり変更がありました。

●市議会議員の人事

◆議長

浅海 忠



議長あいさつ

8年が経過し、合併時に策定された「新市まちづくり計画」に基づき第一次秩父市総合振興計画が平成18年から27年までの10か年計画として進められました。合併による「まちづくり」もいよいよ仕上げの時期となりました。

この間、平成23年3月に東日本大震災が発生し、福島第一原子力発電所事故と併せて各地に甚大な被害を及ぼしました。秩父市においても市役所本庁舎と市民会館が被災してしまいました。その後の協議・検討の中で現在地において建替えをすることとなり、それぞれの建物も解体され、現在基本設計が市民の皆さんの意見を反映した中で進められています。平成25年度に詳細設計、平成26・27年度の建設が計画されています。この2つの建物は秩父市民を守る防災の拠点としての重要な役割があります。一日も早い完成が望まれるものであります。

そうした中、急速に進む人口減少、少子高齢化の波は、秩父地域のみならず全国的に影響を及ぼします。生産年齢人口の減少による税収の減少、高齢化に伴う福祉費や医療費の増大、合併特例期間の終了に伴う地方交付税の減少等、厳しい財政状況の中で「まちづくり」を進めなければなりません。

人口減少対策としての雇用確保・企業誘致・子育て対策としての産科医療確保等の対策や、生活の基盤整備としての水道施設の耐震化や更新、生活道路等の改良など課題は、山積しています。

これらの課題を秩父市当局とともに一日でも早く、1件でも多く解消していくよう務めてまいります。結びに、市民の皆さんと共に活動する秩父市議会に更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

◆委員等の変更

次のとおり、委員等に変更がありましたので、お知らせします。

議会運営委員会

委員長

福井 貴代 議員

(4月2日付で就任)

副委員長

五野上 茂次 議員

(4月2日付で就任)

委員

笠原 宏平 議員

(3月13日付で就任)

秩父広域市町村圏組合議会議員

木村 隆彦 議員

(3月13日付で選出)

◆議員の辞職

4月4日付で、新井豪議員、小櫃市郎議員が、秩父市議会議員を辞職されました。

なお、市議会議員の人数につきましては、24人(欠員2)となりました。

出 選 長 議

平成25年3月議会最終日において小櫃市郎議長が議長の職を辞任しました。その後の議長選挙において当選させていただきました3月13日から議長に就任いたしました。小櫃前議長には、2年11か月にわたり議長として活躍いただいたことに深く感謝と敬意を表します。

私たちの任期は平成26年4月までの1年余りと限られた期間ではありますが、円滑な議会運営が出来るよう公平公正に務めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、秩父市の現状は平成17年に4市町村で合併してか

3月定例会

# 第2回 議会報告会

5/17

金 午後6時30分～

3会場  
同時開催!

- ・秩父市福祉女性会館
- ・吉田やまなみ会館
- ・荒川農村環境改善センター

秩父市議会は、『市民に開かれた議会』を目指し、日頃の議会の活動状況を知っていただくとともに、市民の皆様のご意見やご提言を直接お伺いし、今後の議会審議、議会運営等に反映させるため議会報告会を開催します。

## 福祉女性会館



新井重一郎 五野上茂次 小池 治 逸見 英昭 笠原 宏平 斎藤 捷栄 新井 康一 福井 貴代

## 吉田やまなみ会館



金崎 昌之 木村 隆彦 富田 俊和 金田 安生 落合 芳樹 江田 治雄 山中 進 宮田 勝雄

## 荒川農村環境改善センター



上林 富夫 竹内 勝利 高野 宏 松澤 一雄 出浦 章恵 大久保 進 浅海 忠 荒船 功

主催：秩父市議会

問い合わせ 秩父市議会事務局 72-2122



# 4月臨時会

## 西武秩父線の存続・維持を 求める決議

4月4日に開催した臨時会では、議案5件と決議1件を審議し、審査の結果、上記の表のとおり決定しました。また、決議の内容は、次のとおりです。

西武秩父線は、秩父地域の住民にとって日常生活を行う上で欠くことのできない重要な路線であり、通勤、通学、観光、産業経済などあらゆる面で秩父地域の振興・発展のために、極めて重要な役割を担っている。

また、池袋線関係が、東急東横線、横浜高速みなどみらい線との相互直通運転を開始し、広域鉄道ネットワークが形成され、沿線観光資源や旅客流動のますますの活性化が期待されている。

このような状況の中、西武秩父線が廃止されることは、秩父地域の住民にとっては誠に遺憾であるとともに、地域の存亡にかかわることであり、到底承服できるものではない。

よって、秩父市議会は、株式会社西武ホールディングス及び西武鉄道株式会社に対し、秩父地域住民にとって重要な公共交通機関である西武秩父線の存続・維持を強く要請する。

## 3月定例会、4月臨時会で審議した議案、請願、決議の結果

	3月定例会で審議した議案		会派ごとの賛否						
	議案等の件名	議決結果	市民9人	彩政7人	共産4人	公明2人	新風2人	無所属1人	
25年度予算	一般会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	×	
	国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○	
	後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○	
	介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○	
	下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	条例の一部改正	技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
		企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
		手数料徴収条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
		市立特別養護老人ホーム条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
		重度心身障害者医療費支給に関する条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
重度身体障害者入浴サービス事業に関する条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
障害児通園事業の運営に関する条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
市営住宅条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
都市公園条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
学童保育室条例の一部改正		原案可決	○	○	×	○	○	○	
証人等の実費弁償に関する条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営に関する基準等を定める条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営、介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	
新型インフルエンザ等対策本部条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	
道路の構造の技術的基準等を定める条例		原案可決	○	○	○	○	○	○	
準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○		
移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○		
移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○		
条例の制定	一般会計補正予算(第6回)	原案可決	○	○	×	○	○	○	
	国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	介護保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	下水道事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	駐車場事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	水道事業会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市立病院事業会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	監査委員の選任(引間正人氏の選任)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	公平委員会委員の選任(守屋利一氏の選任)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	教育委員会委員の任命(議案第43号:新井康之氏、44号:山中朱根氏の任命)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推薦(議案第45号:越田泰春氏、46号:茂木六衛氏の推薦)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市議会会議規則の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市議会委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	
市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○		
ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○		
中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○		
T P P (環太平洋戦略的経済連携協定) 交渉参加に反対する意見書	否決	×	○	○	×	×	○		
消費増税に反対する意見書の提出を求める請願【付託先:総務委員会】	不採択	×	×	○	×	×	○		
議員提出議案	市議会会議規則の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市議会委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	
請願	T P P (環太平洋戦略的経済連携協定) 交渉参加に反対する意見書	否決	×	○	○	×	×	○	
	消費増税に反対する意見書の提出を求める請願【付託先:総務委員会】	不採択	×	×	○	×	×	○	
4月臨時会で審議した議案、決議	市税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	
	都市計画税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	
	国民健康保険税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	
	平成24年度一般会計補正予算(第7回)	承認	○	○	○	○	○	○	
	平成25年度一般会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
決議	西武秩父線の存続・維持を求める決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	

市民ク:市民クラブ 彩政会:彩政会 共産党:日本共産党秩父市議団  
公明党:公明党 新風:新風 無会派:会派に属さない議員  
※議長は人数に含まれていない。

○:賛成 ×:反対 ○/○:賛成人数/会派人数

# 常任委員会の報告

## 総務委員会

3月定例会で付託された議案7件について報告する。

◆埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について

◆埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について

◆技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正

◆手数料徴収条例の一部改正

◆空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例

問 条文中「市長は管理不全の空き家に対し支援・情報提供・協力できる」とあるが、その内容は。

答 空き家バンクへの受付や登録相談、また、取り壊し問題等、何らかの形で助言や指導を想定している。

◆24年度一般会計補正予算(第6回)

問 公共施設整備基金の積立額3億5千万円を公債費に充て、27億9千万円を減らす考えはなかったのか。

答 この基金は本庁舎等建設財源とするもので、公債費に充てると繰り上げ償還となる。以前、高金利時代はそうにしたが、最近では低金利のため、長期返済の方が財政的に有利である。

○以上6件は原案のとおり可決

## 建設委員会

3月定例会で付託された議案13件について報告する。

◆企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

○原案のとおり可決

◆市営住宅条例の一部改正

◆都市公園条例の一部改正

◆道路の構造の技術的基準等を定める条例

◆準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

◆移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例

◆移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例

問 移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例

意見 この6件については、現行の変更点はないが、国が一方の責任を放棄する部分には問題がある、との意見が出された。

○以上6件は原案のとおり可決

◆24年度一般会計補正予算(第6回)

問 市道幹線3号線の公有財産購入費の減額、繰越明許費の設定、新年度予算への計上の整合性は。

答 地権者から代替地の要望があり、その用地として予算化したが、その予定地に隣接する地権者と土地の交換契約が締結できたので減額をした。繰越明許費は、物件移転補償費を予定したが、年度内の

○挙手少数により不採択

移転補償完了で繰越はない。

問 荒川幹線4号線橋梁設計業務委託料について。

答 場所は、三峰口駅から二見沢橋までの延長707メートル幅員9メートルの拡幅改良の計画であるが、用地関係が難航し遅れを来たしているので用地交渉を見極めてから設計するよう減額補正した。

◆24年度駐車事業特別会計補正予算(第2回)

問 25年度で整備事業は完了するの。駐車スペース幅を広くする予定は。

答 大規模工事は完了。舗装工事の際区画線も広くする予定。

◆24年度水道事業会計補正予算(第3回)

問 25年度一般会計予算

問 地籍調査事業の内容は。

答 大達原の第三地区、第四地区、小双里の第一地区、鶉平の地籍調査で、県の調査対外面積に対する進捗率は約30パーセント。

問 プール運営事業の委託先未定の理由は。

答 警備上の認可の関係から新年度に入ってから入札または見積り合わせて発注する。

◆25年度駐車事業特別会計予算

◆25年度水道事業会計予算

○以上6件は原案のとおり可決



# 常任委員会の報告

## 生活産業委員会

3月定例会で付託された議案8件について報告する。

◆24年度一般会計補正予算(第6回)

◆24年度下水道事業特別会計補正予算(第3回)

問 雑入の東京電力原発事故の賠償金は累計でどれほどか。

答 今までの合計は2095万7千円である。

◆24年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)

○以上3件は原案のとおり可決

◆25年度一般会計予算

問 スポーツの森公園関連施設売り上げ収入2億円、これらの運営事業費2億8621万5千円、明らかに歳入不足。平成24年度まで観光機構に委託していた事業で、赤字のため25年度から市の直営となる。過去の赤字経営と、25年度の1億円近い歳入欠損を考えると、今年度は事業を休止し、新たな方法を模索したほうが良いのではないか。

答 24年度中に今年度の予約を受けており、責任上やらざるをえない。赤字を埋めるため、観光課が出向いてでもPRして、お客を集めることに専念したい。

問 住宅リフォーム資金助成金は25年度の重点事業であるが、予算は昨年度と同じ1800万円であ

り、不足するのでは。

答 24年度から、改修費の1割を補助するもので、昨年度はこの予算内に納まった。25年度も同額で計上し、これより多くの申請があった場合は、予備費等の流用を考える。

問 木材活用推進事業の秩父産木材使用住宅助成金について。1立方メートルあたり2万円で、上限50万円。25年度の予算が600万円の計上で、昨年度の3倍増である。利用希望者への周知はどのように行うのか。

答 24年度は申請5件で約150万円の補助金であった。また、昨年度は各戸に回覧を回した結果、問い合わせがかなり増えた。25年度も同様の周知を行いたい。

意見 ミューズパークの運営について、年度当初から歳入欠損が出る予算は認められないので反対する、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆25年度下水道事業特別会計予算

◆25年度農業集落排水事業特別会計予算

◆25年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算

◆25年度公設地方卸売市場特別会計予算

○以上4件は原案のとおり可決

## 文教福祉委員会

3月定例会で付託された議案17件について報告する。

◆市立特別養護老人ホーム条例の一部改正

◆重度心身障害者医療費支給に関する条例等の一部改正

◆重度身体障害者入浴サービス事業に関する条例の一部改正

◆障害児通園事業の運営に関する条例の一部改正

○以上4件は原案のとおり可決

◆学童保育室条例の一部改正

意見 高篠学童が移転した跡地が大して利用されていない前例もあるし、旧花の木保育所の建物が使えなくなつたわけでもないのに反対する、との意見が出された。

意見 花の木小学校の近辺は道路が狭いので安全性から考えても、学童保育室が学校の中にできるのは非常に良いことであるので賛成する、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例

◆指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

◆新型インフルエンザ等対策本部条例

○以上3件は原案のとおり可決

◆24年度一般会計補正予算(第6回) 意見 民間保育所への補助が減つているのは容認できないので反対する、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆24年度国保特別会計補正予算(第3回)

◆24年度介護保険特別会計補正予算(第3回)

◆24年度市立病院事業会計補正予算(第2回)

○以上3件は原案のとおり可決

◆25年度一般会計予算

問 大畑保育園改築事業補助金の内容は。

答 耐震度が非常に低いため、25年度に幼稚園を含め全面改修する

問 生活保護費の補助の内訳は。

答 扶助費については、国の補助が4分の3で、現居住地保護の場合は、さらに県から4分の1の補助が出る。事務費の報酬については、国や県から10分の10の補助、需用費については国から2分の1の補助などである。

意見 民間保育所の補助金が減額になり、運営にとっても苦慮している話を聞いている。安定した運営ができるよう補助するべきと反対する、との意見が出された。

◆25年度国保特別会計予算

◆25年度後期高齢者医療特別会計予算

◆25年度介護保険特別会計予算

○以上4件は挙手多数により可決

◆25年度市立病院事業会計予算

○原案のとおり可決



# 特別委員会の報告

## 議会改革特別委員会

議会の組織・運営等に係る調査、研究として1月11日および2月6日に委員会を開催し、以下の項目を協議した。

### 【議会基本条例について】

先進市議会である鶴ヶ島市議会、所沢市議会を平成23年1月20日に視察し、5回開催した委員会の中で、協議を重ね、「議会基本条例は制定する必要がある」との結論に達し、今後は、議会基本条例の制定に向け議会運営委員会等でさらに協議を深めていただきたい、との報告書を議長へ提出した。

### 【議会改革特別委員会の終結】

本委員会は、平成22年5月臨時議会で、地方分権の流れの中、二元代表制の一翼であり、住民の意思を代表する市議会は、住民ニーズ・行政参加等、議会を取り巻く環境の変化が著しい中、その変化を果たすために、議会改革を進めるとともに活性化に資するため、本委員会が設置され、委員会を27回開催し、検討事項17件、請願1件、議長の諮問事項4件、計22件を協議、検討及び審査し、3月議会で終結とした。

### ◆主な協議事項（抜粋）

◆政務調査費を使用した広報誌のあり方について。

「この会報の発行に係わる経費の

一部は、政務調査費を使用しています。」という文言を記述することに決定した。

◆ケーブルテレビ・インターネット中継について。  
平成23年6月議会から録画中継として実施した。

◆一般質問のあり方について。  
35分の質問時間は現行どおりとするが、質問と答弁を含めて1時間で終了することを目標に努力することを決定した。

◆行政視察について。  
視察の内容が市民に理解されない、市民に伝わらない等、議会と市民との感覚に乖離があり、その溝を埋めるため、平成23年以降に実施する行政視察からは「視察の目的、成果報告をホームページ等に掲載し説明責任を果たすこと」を決定した。

◆議会報告会について。  
市民に開かれた議会であるために、議会の活動状況や課題の取り組み状況についての説明責任を果たすとともに、市民との意見交換を行うため実施した。平成24年5月に第1回議会報告会を開催し、平成25年5月17日に第2回を開催する予定である。

◆議員定数について。  
「議員定数を20人以下に削減する請願」は、不採択となったが、その後も議員定数について協議をかさねた結果、21人から23人が妥当であるとの意見が多数をしめた。

## 市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会

本委員会に付託されている市役所本庁舎及び市民会館等建替え調査、研究について報告する。

去る、2月15日および、3月5日に、本委員会で「秩父市役所本庁舎及び市民会館建設基本設計(案)」について協議を行った。基本設計(案)については、昨年10月に行われた「秩父市役所本庁舎等建設工事設計業務公募型プロポーザル選定」で代表企業枠および、市内企業枠となった、佐藤総合計画・丸岡設計特定設計共同企業体により、2月12日に開催された議員クラブ研修会において、初めて具体的な設計(案)等の説明を受けた。

本委員会では、市役所本庁舎および市民会館の建設と併せて、「旧秩父セメント第一プラントの跡地利用」として秩父駅東側のマスタープランなどを協議してきたが、今回は特に「基本設計(案)」を中心とした協議を行った。協議の中では、省資源・省エネルギー等に対応した環境にやさしい庁舎にすべき。との意見や、庁舎等は長期間にわたり使用するもので、建物の主要構造部材は、耐久性の高い資材を採用し、設備機器のメンテナンスの容易性に配慮すべき。高齢者や障がい者、妊産婦に配慮を

したユニバーサルデザインの取組みが重要。などの意見が出された。これらの意見を踏まえて、本委員会として、①太陽光発電装置や地熱、地下水など自然エネルギー資源の活用、LED等による省資源、省エネルギー化に取組むこと。②多目的トイレ装置(オストメイト付)、障がい者駐車場、妊産婦ハートフル駐車場の整備。③秩父産木材を総合受付窓口、各受付カウンターの修繕にかかる経費については、建設段階から中長期計画を立案し、計画的に実施していくこと。以上の4つの諸点について意見を付し、平成25年3月13日に、市長へ申入れ書を提出した。



解体が進む市役所本庁舎および市民会館

# 市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 上林 富夫（新風）</p> <p>1 太陽光発電事業者の現状</p> <p>2 (財) 地場産業振興センター</p> <p>3 市が関係する外郭団体</p> <p>4 生活保護の最新状況</p>	<p>⑥ 冨田 俊和（市民クラブ）</p> <p>1 検証機関の設置</p> <p>2 公共事業の受皿はどうする</p> <p>3 建設残土処分場</p> <p>4 旧セメント跡地のマスタープランの進捗</p>	<p>⑩ 新井 康一（日本共産党秩父市議団）</p> <p>1 太陽光発電と農地</p> <p>2 放射能汚染対策</p> <p>3 除雪と凍結路面対策</p> <p>4 土砂たい積問題の現状 他</p>
<p>② 新井 重一郎（新風）</p> <p>1 地方交付税減額予想とその対策</p> <p>2 市職員の給与水準ラスパイレス指数</p> <p>3 女性の潜在力を生かすウーマノミクス</p> <p>4 新企画理科おもしろ実験教室とその予算</p>	<p>⑦ 福井 貴代（公明党）</p> <p>1 給食での食物アレルギー事後防止対策</p> <p>2 障がい者の自立・就労支援</p> <p>3 発達障がいの早期発見・早期支援</p> <p>4 子宮頸がんのHPV検査導入</p>	<p>⑪ 金崎 昌之</p> <p>1 今後の企業誘致のあり方は</p> <p>2 中小企業振興基本条例の設置を</p> <p>3 140号バイパス接続道路の整備</p>
<p>③ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議団）</p> <p>1 病児・病後児保育</p> <p>2 定住自立圏協定による医療連携</p> <p>3 大滝温泉リハビリ</p>	<p>⑧ 大久保 進（公明党）</p> <p>1 防犯灯・公共施設のLED化</p> <p>2 子ども広場の設置</p> <p>3 ベタンク専用コートの夜間照明設備</p>	<p>⑫ 松澤 一雄（彩政会）</p> <p>1 市営馬場</p> <p>2 秩父まつり会館</p> <p>3 特別公開の成果と今後の方針</p> <p>4 財政状況</p>
<p>④ 逸見 英昭（彩政会）</p> <p>1 市長の1期4年の総括</p> <p>2 有害鳥獣駆除</p> <p>3 長期継続契約の現況と今後</p>	<p>⑨ 木村 隆彦（市民クラブ）</p> <p>1 定住自立圏構想における提案1</p> <p>2 定住自立圏構想における提案2</p> <p>3 秩父市におけるフェイスブック等の活用</p> <p>4 「秩父宮記念」の名称</p>	<p>⑬ 山中 進（日本共産党秩父市議団）</p> <p>1 子育て支援についての市の取組み</p> <p>2 市民のくらし、足、安全を身近なものに</p>
<p>⑤ 宮田 勝雄（市民クラブ）</p> <p>1 新火葬場の早期着工に向けて</p> <p>2 市内トンネルの点検</p> <p>3 大滝の市有林活用</p>		

※ 市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問のようすをご覧ください。

## 一般質問

### 太陽光発電事業者の現状



新風 上林 富夫  
かみばやし とみお

**問** 電力会社との最新状況および資本金1円の契約会社は倒産などで市に影響を及ぼすことはないか。

**答** 市の基本協定書の調印式は1月15日実施、契約期間は発電開始から20年。東電との接続契約は諸手続きを経て3月末までに終了予定。農地などに関する申請手続きが終了するのは8月以降の予定。市と業者との土地賃貸契約は9月以降となる見込みである。また、万が一、倒産などの場合を考え双方で十分協議し可能な限りリスクを回避できる契約に心がける。

### ● 地場産業振興センターについて

**問** 組織、役員人事、経営内容、職員採用方法などについて。

**答** 理事長、理事は無報酬、専務理事は公募を経て評議員会が選任し報酬は月額20万円。一般職員の採用は規定により局長、職員は理事長が任命。25年4月の採用予定は32人の受験者に対し2人の合格者を決定。また、ここ数年、数千万の赤字が続いているが検討委員会を設置し、すでに5回の委員会を開催した。保有する国債約2億

1千万円は改築などの資金に充てることから売却はできない。

### ● 生活保護制度について

**問** 多くの市民から質問要請があったので、受給者数などの現状についてうかがう。

**答** 25年1月末の総受給者数は、518世帯、690人である。20歳未満73人、20代14人、30代36人、40代66人、50代143人、60代159人、70代134人、80代65人で、金額は約9億7千万円である。



太陽光発電事業予定地



# 一般質問

## 地方公務員給与引き下げを求める交付税の減額



あらいじゅんしん  
新風 新井重一郎

**問** 秩父市における減額予想は。約1億8千万円。

**答** 政府の求める給与削減に対する市の対応は。

**問** 県や他の市町村の動向を見ながら削減割合や期間について検討。

**答** 秩父市のラスパイルズ指数(国家公務員を100とした際の給与水準)と県内、国内の順位は。

**問** 105.5。県内38市中31番、国内1789自治体中785番目。

### ●女性の力を生かすウーマノミクス

**問** 市職員の管理職以上に占める女性の割合は。

**答** 平成17年度、管理職職員246人中45人で割合は18.3%。24年度283人中67人で23.7%。

**問** 北欧では女性管理職40%以上の登用を法律で義務づけるクオータ制を採っている国もある。市でも積極的に進めるべきと思うが。

**答** 県では埼玉版ウーマノミクスプロジェクトを立ち上げた。当市でも女性の労働力を活用するために県と協力し積極的に進める。

### ●平成25年度理科教育予算措置

**問** 国の平成24年度補正予算「理科教育設備等の整備への支援」が計上された。市の平成25年度予算にどのように考慮されているか。

**答** 本年度の補正予算での対応を検討する。本年度の予算計上は「理科おもしろ実験教室」。今までの物理、化学の他にジオパークを活用した地学、動・植物対象の生物を加え4分野で行う予定。さらに、県の支援による小学校理科支援員を7校に配置する。

### 平成24年市町村別ラスパイルズ指数

県内順位	市町村名	ラスパイルズ指数
1	熊谷市	112.1
2	戸田市	111.9
2	桶川市	111.9
4	八潮市	111.5
5	川口市	111.4
5	上尾市	111.4
7	滑川市	111.0
41	羽生市	105.6
41	白岡町	105.6
43	秩父市	105.5
43	川島町	105.5
45	久喜市	105.3
58	横瀬町	101.5
59	長瀨町	99.6
60	東秩父	99.1
61	小鹿野町	98.0
62	皆野町	92.5

## 定住自立圏協定による医療連携



いづみ  
日本共産党秩父市議団 出浦 章恵

**問** 秩父生協病院は回復期リハビリに取組み、地域に貢献しているが、そのために急性期患者の入院等の受け入れができなくなった。それを受け入れする支援、医療連携はどのように行っていくのか。

**答** 秩父圏域内で回復期リハビリ病床を持つ病院は秩父生協病院のみ。地域に貢献する病院として、平成21年8月頃から取り組んでいる。これまでに回復期リハビリ診療を受けていた回復期リハビリが必要な患者にとつて、圏域内で受診できるようになったことは、本当にありがたいことと思う。急性期の入院等の支援は、二次救急輪番制病院をはじめとして、圏域内の病院が連携をして、医師や病院相談員が連絡を密に取り合い、受け入れを行っている。

**問** 地域完結型医療とはどこまでを考えているのか。

**答** 秩父地域は地理的、物理的、文化的に特殊な環境を有しており、できる限り医療を地域で完結することが理想であるが、圏域内の人口規模、基幹病院の施設規模、埼玉県地域保健医療計画などの整合性を考慮すると、圏域内では第

二次救急医療体制までの充実を図ることが急務と考えている。

圏域内医療体制の充実には、圏域内の医療機関が連携して、病院と診療所の機能分担を図るなど、圏域内全体がひとつの総合病院的機能となり、圏域内の医療を充実することや保健、医療、福祉が一丸となつて、福祉施設や住宅での医療体制の充実も必要と考えている。

ちちぶ定住自立圏共生ビジョン

秩父定住自立圏共生ビジョン

平成25年 3月22日 医師会  
平成24年 3月23日 三野派  
平成22年10月29日 二野派  
平成22年 3月26日 藤 派

秩父市・横瀬町・皆野町・長瀨町・小鹿野町

# 一般質問

## 市長の1期4年の総括について



彩政会 逸見 英昭  
へんみ ひであき

**問** 市長は当選以来真摯に市政に取り組んできたと感じているが、4年間を総括して自身をどう評価しているか。

**答** 環境・経済面では東日本大震災で被災した福島県の企業の誘致、日本ジオパークの認定取得など。教育面では、学力向上のため市内全ての小中学校が全国学力学習状況調査に参加、不登校対策、耐震化工事、給食費助成の支給開始など。医療福祉面では、市立病院に循環器内科を設置、子ども医療費の支給対象を中学3年まで拡大などを行った。

今後は、①市立病院に産科を開設②市役所庁舎等および火葬場の建設推進③大企業誘致、以上の3つを必ず成し遂げていく。

### ●有害鳥獣駆除対策について

**問** 有害鳥獣による被害は年々増加しているが、実態に即した駆除が実施されていないのが現状である。これは捕獲事業の委託先である猟友会の会員減少や高齢化が大きな理由であると思うが、今後の対応についてどう考えているか。



農作物に被害を与える鹿

**答** 捕獲従事者の減少については懸念している。平成25年度中には鳥獣被害防止実施隊の設置に向けた制度・組織等の体制整備を行いたいと考えている。

### ●長期継続契約の現況と今後について

**問** 長期継続契約をしている事業はどのくらいあるのか。

**答** 各種管理システムや各種物品のリースおよび保守点検等について実施している。

## 新火葬場の早期着工に向けて



市民クラブ 宮田 勝雄  
みやた かずお

**問** 新火葬場の早期着工を望むが、市営馬場の移転等も含め秩父市の考えは。

**答** 秩父斎場を所管する秩父広域市町村圏組合からの内容によると、昨年8月、下宮地町会の深いご理解により市営馬場を含む現在地に新火葬場を建設することで事業が開始された。11月に新火葬場建設事業基本計画を作成し、プロポーザルによる業者選定のための選定委員会を立ち上げた。現在、建設設計および火葬炉設備の業者選定の公開ヒアリング開催に向けて準備を進めている。公開ヒアリングは、建築設計選定が3月18日、火葬炉設備選定を3月21日に開催。

また、早期着工に向け新火葬場敷地測量業務委託および市営馬場移転補償業務委託の契約手続きも進行中である。新年度には選定業者と基本設計業務委託契約を交わし、地元町会ほか関係者の意見も交え基本設計を仕上げ、実施設計、地質調査その他諸手続きの完了後、建築工事に着手し、遅くとも平成28年度中に完成させる予定とのことである。

市営馬場の移転先は、秩父市乗

馬連盟のご理解のもと、移転先を羊山公園ふれあい牧場隣地に決定。平成25年度に移転先の用地測量と、施設設計業務委託を予定しており、平成26年度には施設建築工事に着手し、年度内に完了する予定である。秩父市としても、早期完成に向け、関係部局により積極的に支援協力していきたい。



市営馬場

◎市内トンネルの点検  
◎大滝の市有林活用



# 一般質問

## 検証機関の設置

**問** 事業実施後1年程経過した段階で、その成果や利用勝手、使用頻度について検証することが大事であると考えます。また、その検証委員は市民参加の外部機関として構成することが望ましいと思うのですが、どうですか。

**答** 外部検証機関の最たるものは議会である。当市では、職員自らが検証を行っている。しかし、将来的には、適切な人員構成による外部検証機関は、必要であると考ええる。

### ● 公共事業の受皿はどうする

**問** 自公連立政権は公共事業増大の予算を組んでいる。当市においては、これを活用する整備計画はあるのか。

**答** 国の認定を受けた地域再生計画はある。通学路については、教育委員会と協議し地区通学路整備計画を策定している。

### ● 建設残土処分場

**問** 環境や自然景観を最も大切にしなければならぬ秩父地域にとって、公共の処分場は必要と思うがどうか。



市民クラブ 富田 とみおか 俊和 としかず

**答** 埼玉県とも連携を図り、検討する。

### ● 旧セメント跡地のマスタープランの進捗

**問** どのような考えのもとに、どこまで進んでいるのか。

**答** ものづくり大学の大島教授の指導を受け、3つのゾーンに分けて考察を進めている。5月中には構想案がまとまる。



旧秩父セメント跡地

## 給食での食物アレルギー事故防止策について



公明党 福井 貴代 ぶくい たかよ

**問** 食物アレルギーを持つ児童生徒の現状と対策は。

**答** 食物アレルギーを持つ子は、小学生260人、中学生124人。何らかの給食対応をしている児童生徒は小学生19人、中学生8人。アドレナリン自己注射「エピペン」を携帯している児童生徒は3人。全職員と情報を共有している。

**問** エピペンの使用方法を含め、教員等への研修が必要なのは。

**答** 養護教諭を対象に、医師の指導による実技研修を行ったが、今後はエピペントレーナー（自己注射のデモ機）を活用し教師への研修も行っていく。

### ● 障がい者の自立・就労支援

**問** 障がい者優先調達推進法施行に伴う取り組みは。

**答** 地方公共団体は障がい者就労施設等の受注の機会の増大を図るための措置を講ずるよう努めるものとなっている。庁内への周知と協力依頼、関係団体との調整等を行い調達方針を策定。市ホームページでの情報提供を行っていく。

**問** 入札の際に障がい者雇用率を考慮できないか。

**答** 総合評価方式の評価項目に、障がい者雇用実績の項目が選択項目としてあるが、採用した実績はない。今後は評価対象として採用することを検討していく。

**問** 新庁舎や新火葬場に障がい者運営の売店等を設置できないか。

**答** 設置運営している先進地の例もある。限られたスペースだが設計の中で検討していく。



エピペンは服の上から使用可能



エピペンの実物（中段）と練習器（下段）

◎子宮頸がんのHPV検査導入  
◎発達障がい早期発見と支援

# 一般質問

## 防犯灯、公共施設のLED化は



公明党 大久保 進  
おおくぼ すすむ

**問** 経費節減にもなり、環境にも優しい防犯灯等のLED化をリース方式でできないか。

**答** 各町会から防犯灯設置要望があった箇所について新設をしており、平成25年度からの新設分については、LED化をする予定で計上している。既存の防犯灯に対応できる蛍光管型も実用化が図られつつあるとの情報もあることから商品開発の状況を見ながら、どのような方法でLED化を進めていくか検討中である。公共施設のLED化については、小・中学校も含めて、補助制度を利用するなど、可能な限り進めていく。

### 子ども広場の設置

**問** 私の住む町会には子供たちが休日や学校から帰って来てから安全に遊べる場所がない。心配しながら道路上で横を通る車両に気をつけながら遊んでいる。未来の宝である子どもたちが安心して遊べる広場の設置ができないか。

**答** 子どもの情操教育、仲間意識の確立等にかかせない場所と考える。地元町会よりの要望、土地の提供があれば積極的に推進する。



秩父市ペタンクテラン

### ペタンクコートの夜間照明設置

**問** ペタンク専用コートに夜間照明の設置は。

**答** ペタンクの普及や健康づくりの面から有効と考える。しかし東高跡地の専用コートは、埼玉県より土地を借りているため、施設を設置するには県と協議し許可を受けなくてはならない。また、電気の配線状況はトイレの浄化槽に必要な電気しかなく、新規の照明施設の設置は非常に厳しい。

## 定住自立圏構想における提案



市民クラブ 木村 隆彦  
きむら たかひこ

**問** 昨年10月に韓国・江陵市で行われた世界無形文化祝典で、秩父産お菓子の販売が行われたと聞いているが、どのような販売状況であったか。

**答** 秩父産のメープルシロップ「秩父カエデ糖」や「ちちぶ太白いも」など、6種類1,100個を販売。また、白玉だんごの試食販売、秩父の韓国語版観光リーフレットの配布や日本の子供の遊び(けん玉・だるま落とし)等を紹介し、周辺ブースを圧倒する集客があり会期中中でお菓子が完売するほどの盛況であった。また、新聞6紙に記事として取り上げられたほか、今年2月には駐韓日本大使館の韓国国内向け広報紙にも掲載されるなど、情報発信の面でも大きな成果があった。

**問** 海外で物産展を開催し秩父で生産された商品等を海外で販売することについて。

**答** 海外出店に伴うノウハウの蓄積が進み、その経験を共有できたことは、今後、市が地域企業の海外展開を支援していく上で、必ずプラスに働いてくるものと考えられる。また、新たな「生産拠点」として



昨年10月韓国・江陵市で行われた秩父産お菓子の販売の様子

だけでなく、新たな「販路」として海外展開を模索する動きが、秩父地域でも活性化することが予想される。今後、積極的に支援していく。

**問** 定住自立圏構想に位置付けるといふ提案に対して、どのように考えるか。

**答** 業種・地域の広がりや連動しながら、柔軟に検討していきたいと考える。



# 一般質問

## 太陽光発電と農地

日本共産党秩父市議員 新井 康一



### 放射能汚染対策

**問** 農業委員会では、畑にソーラー発電用パネルを設置するために農地転用をするという申請が目につくようになった。再生可能エネルギーの活用ということでは認めざるを得ない状況である。しかし、農業委員会では遊休農地などの調査も行なっていて、不耕作地の解消を推進している中で、比較的平坦で日照など条件のいい農地が太陽光発電にも適している転用されてしまう。今のうちに農地への太陽光発電施設の設置については、ある一定のルールを作っておく必要があるのではないか。

**答** 昨年4月に国・県より「優良農地を除く第2種・第3種農地は転用許可を受ければ設置可能」と通知されている。

**問** 市がすすめるメガソーラーについては市長名で大規模な農地転用申請が出されたが、農業委員会にはこの事業の説明がなかった。市の事業であれば、担当者が来て説明するのがスジではないのか。

**答** 配慮が足りなかったと反省している。3月の総会には説明を行うようにする。



市が進める大規模メガソーラー発電の予定地

◎市長の施政方針

## 今後の企業誘致のあり方は

かなさき まさゆき 金崎 昌之



**問** 一昨年実施した「秩父市企業立地に関する調査」の結果を見ると、企業が進出の際に重視することの1番は「道路などの物流インフラ」で、次が「市場、自社工場とのアクセス」となっている。また、国内に工場等を立地する動きもわずかに4%と少ない。こうした中では、大型の企業誘致とは別に、「地域の売り」と「企業ニーズ」に則した柔軟な企業誘致の形が求められていると考えるが。

**答** 広くアンテナを張って情報を集め、誠意を持って誘致活動を継続することが誘致の近道。同時に、既存企業の流出を防ぐ戦略も並行していく。

### 中小企業振興基本条例の設置を

**問** 地域の経済や雇用を実質的に支えているのは地元の中小企業である。こうしたことから、中小事業者を支援・育成していく基本姿勢を明確に打ち出した「中小企業振興基本条例」を制定する自治体が増えてきている。秩父市での制定は。

**答** 市では商工業振興基本条例を

制定しているが、この条例の見直しや改正も検討したい。

### 140号バイパス接続道路の整備

**問** 新皆野橋開通から2年、開通前後の交通量や交通事故の実態はまた、接続道路である県道秩父児玉線等の交通安全対策は。

**答** 県道秩父児玉線の交通量は、昼間の12時間で約2千台の増。同じく2年間の交通事故は5件から18件に。課題箇所の整備は、県と連携しながら事業促進に取り組む。



交通量が増え整備が進む県道秩父児玉線

# 一般質問

## 市営馬場について

**問** 市営馬場を、羊山に移転する考えについて、連盟との協議内容および提言した効果の斟酌内容は。

**答** 候補地の選定は、馬術競技の振興と後継者育成のため、競技人口を増やし、多くの方が馬に親しむ、観光資源としても活用できることを視野に入れて検討したが、限られた期間、土地の状況等を協議した上で移転先を決めた。

## 秩父まつり会館について

**問** 合併後の入館者数が往年の半数以下に減少しているが、原因と収支状況およびリニューアルによる今後の構想について。

**答** 赤字が続く理由は、会館の管理に対する市の関わりの希薄化と見える。今後は運営を市が主体的に行い、秩父地域の観光の核となるよう市民のご意見を得てリニューアルし、開かれたまつり会館として魅力ある情報発信をし、入館者を増やし黒字化を目指していく。

## 財政状況について

**問** 中期財政計画の将来予測される形式収支の赤字対策と財源不足



彩政会 松澤 一雄  
まつざわ かずお

を解消する具体策について。

**答** 歳出の10%を占める公債費には減債基金を活用し、合併特例期間終了後の交付税の減額には計画的に歳出削減して積み立てた減債基金で解消する。また自主財源の確保には、市税の収納率の向上、企業誘致による税収確保を、経費の削減については、健全化計画の具体的対策により取り組んでいく。



秩父まつり会館

◎特別公開の成果と今後の方針

## 子育て支援と高齢者支援

日本共産党秩父市議団

やまなか すずむ 山中 進



**問** 学童保育室は学校生活の延長ではなく、家庭生活の延長の場であるといえる。働く親を持つ子どもたちの毎日の生活の場であり、健康や安全の管理など擁護を含めた基本的な生活が保障され、子どもの成長段階に応じた適切な指導援助が行われて初めて、その役割を果たすことができる。学童保育室はこのような実態に合わせて施設作りが必要だ。補助金は国、県及び市町村が3分の1ずつ負担する制度となっている、埼玉県の制度は国の制度だけでは学童保育室の運営は難しいと考え、民間学童保育室に上乗せして補助する制度を設けている。なぜ、県の上乗せ基準を実施しないのか。

**答** 今後、民間学童保育施設について官民の格差是正を図っていく。

**問** 別所地内県道および花の木小学校周辺の市道に、通学専用の歩道ができないか。別所町会から市長と語る会の席上で要望を市長にお願いしたどうかについて。

**答** 県道については県土整備にお願いしている。市道については、さらに調査検討していく。

パーなど郊外への出店、秩父病院など大きな病院が移転により通院や買い物など、不便をきたしている。市民や高齢者へのサービスとして、市内循環バスの運行で足の確保ができないか。

**答** 核となる市内循環路線を設定し、足の確保を考えている。



路線バスの発着





### 議会用語解説

【常任委員会】じょうにんいんかい

常任委員会は、議会で議決する議案等を専門的に審査する内部機関です。地方自治法により、常任委員会を設置することが定められており、条例で設置する委員会の数や委員数が決められています。秩父市議会では4つの常任委員会が設置されており、各委員会が担当する分野に議案等を分けて、それぞれ調査、審査を行っています。また、議員は少なくとも1つの常任委員会に属することが法律で決められており、議会で（または議長により）選任されます。秩父市議会の常任委員会および担当分野は次のとおりです。

#### ◆総務委員会（7人）

市長室、総務部、財務部、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会および固定資産評価審査委員会に係る事項。

#### ◆建設委員会（7人）

地域整備部および水道部に関する事項。

#### ◆生活産業委員会（6人）

環境部、市民部、産業観光部および農業委員会に関する事項。

#### ◆文教福祉委員会（6人）

健康福祉部、教育委員会、市立病院および大滝国民健康保険診療所に関する事項。

#### 【議会運営委員会】ぎかいうんえいいんかい

議会運営委員会は、議会が円滑に行われるために調査・研究などを行う機関です。その他に、議案等の審査も行っています。委員数は、条例で8人と決められており、議会で（または議長により）選任されます。

具体的には、次の事項を調査することが法律で決められています。

- ① 議会の運営に関する事項
- ② 議会の会議規則や、委員会の条例などに関する事項
- ③ 議長との諮問に関する事項

#### 【特別委員会】とくべついんかい

特別委員会は、議会や市全体に関わる特別な事項等を、調査および審査するための機関です。

例えば、2つ以上の常任委員会に属する事項、特に重要であるため特別の構成員によって調査や審査を行う必要がある事項、各常任委員会に属さない事項などを調査、審査する場合に設置されます。

秩父市議会では、議会改革特別委員会や、市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会などが設置されています。

### 人事案件

秩父市監査委員の選任、秩父市公平委員会委員の選任、秩父市教育委員会委員の任命および人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

また、秩父市選挙管理委員会委員および補充員の選挙が行われ、次の方が当選されました。

#### 秩父市監査委員

引間 正人（吉田久長）

#### 秩父市公平委員会委員

守屋 利一（本町）

#### 秩父市教育委員会委員

新井 康之（上宮地町）

山中 朱根（大滝）

#### 人権擁護委員候補者

越田 泰春（荒川贅川）

茂木 六衛（大滝）

#### 秩父市選挙管理委員会委員

風間 保男（上吉田）

原嶋 岸男（荒川上田野）

阿部 重則（下影森）

廣瀬 浩也（大滝）

#### 補充員

#### 順序

1 高田 節子（上吉田）

2 神林 昭周（荒川上田野）

3 笠原 三枝子（寺尾）

4 黒澤 保夫（大滝）

### インターネットで

#### 議会を傍聴しませんか

本会議の初日（議案説明等）、議案に対する質疑、一般質問、本会議の最終日（採決等）の映像を、インターネットで録画中継しています。ぜひご覧ください。

「秩父市ホームページ」から「秩父市議会」を選択し「インターネット録画中継」を選択するか、下記のように検索すれば、左のようにインターネット中継のページが表示されます。



秩父市議会インターネット中継

意見書

3月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書3件が提出され、審査の結果、2件は原案のとおり可決、1件は否決されました。可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書

- 1 ブラッドパッチ療法の治療基準を速やかに定め、平成26年度に保険適用とすること。
- 2 「脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究」を平成25年度以降も継続し、「診療ガイドライン」の早期作成とともに、子どもに特化した研究及び周辺病態の解明を行なうこと。
- 3 脳脊髄液減少症の実態調査を実施し、患者・家族に対する相談及び支援体制を確立すること。
- 4 ブラッドパッチ療法に関する「先進医療」認定施設を各都道府県に最低1か所設けること。

中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書

- 1 全国的な中小企業支援ネットワークの整備とともに、認定支援機関の整備を図るなど総合的かつ、きめの細かい経営支援体制の充実を図るとともに、中小企業への周知徹底、フォローアップに万全を期すこと。
- 2 地域の金融機関のコンサルティング能力及び支援体制を強化し、中小企業の経営改善を図ること。

市議会を傍聴してみませんか 6月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日 程	議 事
5月29日(水)	開会、議案説明
6月3日(月)	議案に対する質疑
4日(火)、5日(水)、6日(木)	一般質問
7日(金)	委員会
12日(水)	委員長報告、採決、閉会

※ 議場は、吉田総合支所の3階です。  
 ※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もあります。傍聴の際は、議会事務局へお問い合わせください。  
 ※ 委員会の傍聴は、事前に許可が必要です。

ありがとうございました

3月定例会の盆栽

3月定例会に盆栽を提供していただいた方は、日本盆栽協会秩父支部の、新井清さん(中村町)、岩田亨男さん(中村町)、堀口正一さん(大野原)、関根茂男さん(上宮地町)です。



堀口正一さん提供



新井 清さん提供



関根茂男さん提供



岩田亨男さん提供

4月臨時会の盆栽

4月臨時会に盆栽を提供していただいた方は、日本盆栽協会秩父支部の、新井清さん(中村町)です。



新井 清さん提供

編集後記

今年の冬は一段と寒さが身に沁みました。豪雪地帯では例年にも増して記録的な大雪となり、悲しい事故も相次ぎました。心よりお見舞いを申し上げます。

今年の3月議会は市長選などの関係もあり、早めの開催となりました。一般質問に13人の議員が登壇し当局の考えを伺いました。秩父市も今後、庁舎の建設など多額の費用を必要とするが、市民サービズなどに影響がないことをお願いしたいものです。

この議会だよりを皆様が目にするころは、陽光うららかな一番よい季節を迎え、天日の有り難さを感じていると思います。「天日無私、花枝有序」の言葉のように、市民の皆さまには平等に幸福が訪れ今年一年お元気で過ごされますことをお祈りいたします。

平成25年3月 上林 富夫 記

編集委員

- 委員長 木村 隆彦
- 副委員長 大久保 進
- 委員 金崎 昌之
- 委員 山崎 富夫
- 委員 中林 進